

## 南海地震条例づくりワークショップの進め方とキーワードについて（案）

特定非営利活動法人高知NPO

### 1. ワークショップの進め方

#### 1-1 参加者のグルーピング

概ね10名程度で1グループを作る

グループ数は4つ程度

グループメンバーは、似た居住地域で構成することを原則とする

#### 1-2 ワークショップ

ワークショップの目的 南海地震の概要について ワークショップの進め方 の説明

グループごとに、事前に提示したキーワードの中から1~2つ程度選択する

防災・減災のための行動目標（キーワード） 具体的な対策 目標の重要度決定

すべき対策（誰が、いつ、何を） まとめの発表

### 2. キーワード（防災・減災のための行動目標）について

#### 2-1 キーワード設定の要点

具体的な対策につながる中間的なことから(中分類)をキーワードとする

#### 2-2 キーワード一覧表（別表-1）

防災・減災のための具体的な対策を発想しやすい行動目標に着目して作成する

### 3. ワークショップの進め方（別表-2）

#### 3-1 防災・減災のための行動目標の設定

キーワードを選択する 具体的な対策を書く（発想のポイントは、対処と原因根絶）

対策の重要度(救命、防災・減災)を検討する

#### 3-2 対策についての議論を深める

誰が（自分、地域、行政）、いつ（今から、その時、被災後）、どうするか

ポストイット等でシートに貼り付ける

時間があれば、条例に織り込むべき内容を検討する

#### 3-3 発表

グループごとに検討内容を発表する

### 4. まとめと検討会への報告

ワークショップの内容から、事務局にて条例に織り込むべき内容を推敲する

所定の用紙に記入し、報告する

### 5. その他

“行動目標”、“キーワード”等参加者の分かりづらい可能性のある用語は、できるだけ平易にする

(別表 - 1)

キーワード（防災・減災のための行動目標）一覧表

大分類	中分類(キーワード)	具体的な対策(例)
どんな分野で	防災・減災のための行動目標	
1 自らの命を守ること	地震の揺れから身を守る  地盤沈下や液状化などから身を守る  崖崩れや土石流から身を守る  大津波から逃げる  火災から身を守る	耐震診断と耐震補強をする 家具等の転倒防止対策をとる  地域ごとのハザードマップを作っておく  避難路を確保しておく  ガス等の安全装置を取り付ける
2 命を助ける	逃げ遅れや生理めの人を助ける  ペットや家畜などを助ける	自主防災組織で助け合う 救命訓練を実施する
3 被害に向きあう 再建する	孤立に耐える、備える  避難生活や被災生活を送る  正しい情報を得る  生活を再建する  産業・生産を再生する	食べ物や水を備蓄する  必要最低限の生活用品を備蓄  デマに惑わされない

この中から選んでもらう

グループごとに書き出す

(別表 - 2)

ワークショップ検討シート

分類	キーワード	具体的な対策	重要度	誰が			いつ			どうする	条例に織り込む内容
				自分	地域	行政	今から	その時	被災後		
		<input type="text"/>									
		<input type="text"/>									
		<input type="text"/>									

救命、防災・減災の効果

基本的には、事務局で推敲